



避難訓練に参加しました！

4月15日(日) 熊本市東区若葉小学校区の震災対処実働訓練に参加しました。

参加したのは、副会長の西と会員4家族12人。

(そのほかに、支援が必要なグループとして自閉症協会の会員家族、聾学校の生徒1人、老人ホームの方々なども参加されました。)

訓練は…

○ 9時ちょうどに地震が発生!!

…との想定で、地域の方々は、三々五々若葉小学校体育館に集合されました。

○ 要配慮者の避難の状況は、3パターン

パターン①は、若葉小学校に集合、要配慮者の駐車スペースに車を止め体育館へ。

体育館に入るとすぐに12畳の畳の部屋に通され、聞き取り調査が行われました。

そこで福祉避難所が相当と判断されたという想定で、1.7キロ先の福祉避難所である熊本聾学校まで、車(8分)や徒歩(20分)で移動。

熊本聾学校到着後、段ボールベッドも見本を見せていただいたり、関係各所などからの感想を聞いた後、若葉小学校にもどり、炊き出しの混ぜご飯と豚汁をごちそうになって帰りました。

パターン②は、車中泊家族。駐車スペースで聞き取り調査を受け、熊本聾学校へ。

パターン③は、福祉避難所への直行家族。熊本聾学校での直接聞き取り後、パターン①②グループ到着を待って一緒に若葉小学校へ

【感想】

震災後に、育成会から熊本市長へ提出した提言書の1項目に、「避難訓練へ障害者も参加させてください」と上げていましたので、今回実現できたことはとてもありがたいことでした。

さて、今回の訓練ですが、障害保健福祉課など支援体制に重きを置いたためか、要配慮者は別枠での対応だったので、一般の方との接する時間がなかったのが残念でした。

また、聞き取りには1家族10分程度の時間で行われましたが、大災害が起こった時には、大混乱が予想され、聞き取りも今回のように丁寧に行っていただけるとは限りません。その上、被災者も興奮状態になりますので、うまく伝わらないこともあるかと思えます。そこで、私たちも日頃からSOSカードやお薬手帳などに最低限必要なものを書いて用意しておくことが大事だとあらためて思いました。

大西市長も、今後課題を洗い出しながら全校区に広げていきたいとおっしゃっているとのこと。育成会としても、今回の訓練で感じたことを市役所に意見を出していきたいと思っています。

最後に、支援してもらうのを待っているだけでなく、私たち自身もできることをやっていますか？

それは…、皆さんもぜひお近くの避難訓練に参加して、自分の子どもの存在を知っておいてもらいましょう。 はじめのいっ~ぽ ʔ